



平成 28 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 ジオスター株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 栗山 実則
(コード番号 5282 東証第 2 部)
問 合 せ 先 執行役員
経営管理本部経理チームリーダー
古橋 義孝
(TEL 03-5844-1201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、通期につきましては、業績予想の修正はございません。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	12,500	450	450	300	9 円 59 銭
今回修正予想 (B)	13,900	880	880	600	19 円 18 銭
増減額 (B - A)	1,400	430	430	300	—
増減率 (%)	11.2	95.6	95.6	100.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	9,025	△230	△234	△228	△ 7 円 29 銭

2. 修正の理由

売上高は、当社セグメント製品及び土木製品共に増加する見込みとなったことから、139 億円 (対前回開示 11.2% 増) となる見通しです。また、損益につきましては、売上増に伴う利益増に加え、各工場の設備投資・整流化対策・相互連携強化の継続実施による工場安定生産の継続や徹底した原価低減施策の推進により、売上総利益率が改善する見込みとなったことから、営業利益・経常利益は 8.8 億円 (対前回開示 95.6% 増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 6 億円 (対前回開示 100% 増) となる見通しです。

なお、通期の業績につきましては、今後のプロジェクト動向等を精査し、業績予想の修正が必要となった場合には、改めて公表する予定であります。

(注) 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上